



2014.11.5

No. 250

MONTHLY

れんごう

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村 良平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル6F TEL(011)210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

連合北海道 第27回年次大会を開催 2015活動方針、春闘基本構想、統一選挙闘争方針など確認

連合北海道は10月29日、第27回年次大会を開催し、第13期後半に向けた運動方針の補強・強化や来春実施されるの統一自治体選挙に勝利し、道政奪還を図る闘争方針を全代議員・特別代議員によって確認された。

本大会は、9月13日に逝去された元連合北海道副会長・小澤修二氏に黙祷を捧げた後、執行部を代表して工藤会長の挨拶が行われた。挨拶は、①労働者保護ルール改悪阻止に向けた運動を、総力を挙げて展開する、②2015春季生活闘争は、日本の将来を左右する起点・分水嶺であると位置づけ、月例賃金の引き上げに取り組む、③第18回統一自治体選挙の取り組みと政治活動の強化、の3点について行われ、統一自治体選挙については、遅れている知事候補要理に向けて全力で取り組むとした。最後に、「来春の統一自治体選挙そして来る国政選挙に向けて、『自らの足元』である組合員や家族、生活者・働く者の視点に立った政治勢力の再構築に向けた活動に取り組む必要がある」「地域において連合の主張を訴え続け、世論喚起、社会的ウネリを築くためにも産別・単組、地協・地区連合の協力をお願いする」として、挨拶を終えた。

本大会も、連合本部、北海道、札幌市、民主党、労働福祉事業団体等々から多くの来賓がご出席賜り、ご挨拶をいただいた。

その後、昨年の定期大会で提起した運動方針を補強する活動方針、2015春季生活闘争の基本構想や第18回統一自治体選挙闘争方針など全9本の議案が執行部から提起され、それぞれの議案について質疑が行われ、すべての議案が執行部提案どおり確認され、産別での役員交代により、連合北海道執行役員の一部補充選挙も行われ、第13期後期の役員体制が確認された。更に、来春の道議

連合北海道 第27回 年次大会

E格差社会! 全組合員の参加で暮らしの底上げを実現!



選・札幌市長選・札幌市議選での連合北海道推薦候補予定者が紹介され、激励が行われた。

また、連合北海道と退職者連合が協力して高校生平和大使の取り組みを行っているが、今年度の高校生平和大使が大会に出席し、国連訪問を中心にこれまでの活動の報告を行い、平和社会実現に向けた運動の重要性を大会参加者に強く訴え、共感を得ていた。

連合北海道は、統一自治体選挙勝利、格差是正、暮らしの底上げ実現に向け、新しい執行部体制のもと全組合員参加による運動を展開していく。

●本大会において発言された産別・地協

JR総連(笹森代議員) / UAゼンセン(萩野代議員) / 自治労(山木代議員) / 北教組(川端代議員) / 石狩地協(太田特別代議員) / 上川地協(三村特別代議員) / 後志地協(石川特別代議員) / 十勝地協(田中特別代議員) / 鉢根地協(赤田特別代議員)



秋元札幌市長選候補予定者



高校生平和大使



質問に立つ北教組川端代議員

第2回模擬労働委員会を開催 健全な労使関係の樹立に向けて

10月23日、札幌市内で、労働委員会の「不当労働行為救済制度」について、その申し立て・調査・審問などを実践的に学習する「模擬労働委員会」の第2回目となる研修会を開催した。

この模擬労働委員会研修は全国初として5月に開催されたものの第2回目で、団体交渉の拒否や不誠実な団体交渉、また組合員であることを理由にした解雇や不利益な取り扱いなど「不当労働行為」が発生し、労働組合が労働委員会に救済を申し立てる際の救済申立書の作成から、調査・審問などを実践的に学習するもの。

研修は、田島恵一連合中央アドバイザーによる「労働組合結成時の組織運営・対策と労働委員会の活用」と題した講演から始まった。「憲法・労働法の裏打ち。組合公然化時に不当労働行為をさせない方策（オルガナイザーの心得）。不幸に不当労働行為が発生した場合の対応。労働委員会闘争をテコにした団結強化と職場・地域での闘い」など、豊富な経験を元にした講演は、労働委員会に対する経験・知識の無い参加者はもちろん、経験・知識を有する参加者にも大変勉強になるものだった。

その後、2つのグループに分かれ、自治労松岡敏裕組織拡大部長をアドバイザーに、「不当労働行為救済申立書」を作成し、模擬労働委員会への「救済申し立て」が行われた。模擬労働委員会は、元北海道労働委員会会长であり、国内で不当労働行為研究の第一人者でもある道幸哲也北海道大学名誉教授を「公益委員」役とし、「労働者参与委員」役に運輸労連山田新吾書記長、「使用者参与委員」に斎藤勉連合北海道組織対策局長を配役。被申立人である使用者側には、「代理人弁護



士」役に山本功札幌地区連合副事務局長、「補佐人」は社長役に田島アドバイザー、皆川洋仁組織対策局次長が専務役となり、シナリオの無い「第1回調査」から始まった。

多くの場合、申立人・被申立人は同席せず、別々に「調査」が行われるが、時間の関係と、申立人役（参加者）が被申立人（使用者側）の発言等を知ることが出来るよう、一同に行つた。

今回の2つの事件は、明らかな「不当労働行為」であり、被申立人（使用者）は申し開きの出来ないケースだったが、争点をはぐらかす発言や不適当な発言、苦し紛れの発言には、参加者がエキサイトしたり苦笑する場面もあり、また道幸公益委員（役）の鋭い指摘と質問には困窮する場面もあるなど、実り多いものとなった。

連合北海道は、今後も様々な形で「攻め（組織拡大）と守り（合理化対策）と人材教育」に全力で取り組む。

[（この記事のアドレス）](http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=1163)

北海道最賃10月8日より748円に改正! 周知徹底へ街頭宣伝行動と集中相談を実施

10月8日より748円に改正された北海道地域最低賃金を周知するため、10月8日12時～12時40分まで紀伊國屋

札幌店前にて、街頭宣伝行動を実施した。永田組織労働局長と石狩地協山本副事務局長から、最低賃金が時給



748円に改正になったことや、深夜（午後10時～午前5時）勤務の場合は、深夜割増して935円になることなどを、道行く市民に訴え、組合員15人と一緒に2000枚のチラシを配布した。

また、連合北海道では10月8日・9日の2日間、「最賃

110番」として電話相談時間を10時～19時に延長して、集中相談体制をとった。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/wp-content/uploads/20141009_saichin-joho09.pdf

第25回連合北海道女性委員会総会を開催 新役員体制スタート、女性の働く環境整備に向けて一丸

第25回連合北海道女性委員会総会が10月4日、ホテル札幌ガーデンパレスにおいて開催された。総会には9産別2地区から24名代議員が出席し、情報労連の定居美稚子代議員が議長に選出された。

冒頭、山田悦子女性委員会委員長から「女性委員会ではこの1年間、職場の現状や課題、解決の手立てを明らかにするため、各種の集会を開催し諸会議にも出席してきた。『女性の活躍促進』が叫ばれ、管理職への登用も進んでいるが、一方で、女性参画が数字ありきで形ばかりの取り組みになっているところもある。女性の働く環境整備が必要であり、そのためには女性自身の意識改革や行動も必要である」との挨拶があった。

連合北海道渡辺直志副事務局長の挨拶では、連合「第4次男女平等参画推進計画」にふれ、「2015年までに全組織が男女平等に係る方針を明記すること」「両立支援を進める企業に与えられる『くるみんマーク』の取得を春闘要求に入れるなどの取り組みをしていこう。まずは、女性の意見が反映される仕組みをつくることが必要」と呼びかけられた。

来賓として徳永エリ参議院議員、小林郁子道議、広田まゆみ道議、三宅由美札幌市議、篠田江里子札幌市議、村上裕子札幌市議、植松裕子札幌市議の7名からも挨拶を受けた。徳永参議院議員からは、「雇用労働者の4割が非正規。そのうち7割が女性。非正規を正規にしていかなければならないが、政府がやっていることは全く逆」と国政報告も含めた話があった。

議事に入り、一般経過報告と第1号議案2014年度活動総括案の提案では、連合「第4次男女平等参画推進計画」に関する取り組みや「均等法集会」などの集会

の内容について説明を行いました。第2号議案2015年度活動方針案では女性に関する施策や労働法について学習を進め、企業や事業所に周知・徹底がされるよう関係機関に働きかけることなど提案され、いずれの議案も代議員全員の拍手で承認された。

続いて各産別・地区からの報告があり、自治労、UAゼンセン、全労金、札幌地区連合、全開発婦人部から発言があった。全労金からは「現在本部の女性役員がいないことが大きな課題である。女性ゼロの解消に向けて取り組む」という実態報告があった。全開発婦人部からは「『働き続けたい、健康でありたい』というテーマのもと、6月に交流会を開催した。部員が減少していることが悩みだが、今後の参考にしたいので、女性委員会の過去の集会の内容や講師を教えてほしい」という要望も出された。

その後、2015年度役員体制について執行部から提案があり、満場一致で承認された。新旧役員あいさつでは、来年の統一自治体選挙で札幌市南区選挙区から道議会議員に立候補予定で、今総会で退任される畠山みのり事務局長が「曲がり角の先には何があるかわからない(希望がある)」という小説「赤毛のアン」の一節を引用しながら「自分も今、そこに立っている」との力強い決意表明があった。

定居議長のスムーズな進行のもと、女性が働きやすい労働環境をつくること、そのために学習と交流を進め女性委員会の組織化を図ることを確認し合い、総会は終了した。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=1124>



渡島地協「第5回・食と環境まつり」を開催 晴天に恵まれ大盛況、道内各地協からの参加も

魅力ある道南食材の「地産・地消」と、食の安心・安全を見直す機会、更には地球温暖化をはじめとする環境問題を考え合う場として行われている『第5回・食と環境まつり』が10月4日、函館市「緑の島」において盛大に開催された。

危ぶまれていた天候も予報を大きく覆し、早朝から秋晴れに恵まれ、絶好のイベント日和の中、8時過ぎに集まった実行委員等多くの関係者の手によって準備は着々と進められ、11時の開始直前には30にも及びテントと、来客を迎える体制も整い、いよいよイベントのスタート。

函館巴太鼓振興会Jrの勇壮な演奏で幕を切って落とされた「第5回・食と環境まつり」は長谷川実行委員長（食・みどり・水を守る道南地区労農市民会議議長、連合渡島地域協議会・副会長）が挨拶に立ち、世界における食の現状と支援体制、深刻化する環境問題を伝えるとともに、身近な所から見つめ直し、考え合って行くことの重要性を訴えた。

いよいよ、各ブースの販売開始となったが、会場は既に組合員・家族・退職者のみならず、ボスター・チラシを見て訪れた多くの一般の人で賑わいを見せており、事務局の『開始！』の合図とともにそれぞれのブースに殺到。とりわけ、道南農民連盟ブースが行った朝取り野菜の格安販売や野菜の詰め放題は開始と共に黒山の人だからになるほどの盛況ぶりを見せていた。そのほかの数多く出揃った『食のブース』にも長蛇の列が出来るほど賑わいを見せていた。また、『環境ブース』も同様に多くの

人が立ち寄り、木の葉を使った「万華鏡づくり」、木材で作った巨大「オセロゲーム」には親子連れが集まり、秋植球根や鉢植え販売、環境パネル展等々にも興味が注がれ、従前には見られないほど盛り上がりを見せていた。

今回の「第5回・食と環境まつり」には、道内連合各地域協議会からも参加があり、釧根地協は「仙鳳趾の牡蠣」を使った蒸し牡蠣販売、十勝地協は「水餃子」、留萌地協は燻製を使った「タコ飯」、胆振地協は「室蘭力レーラーメン」、檜山地協は「厚沢部産ポップコーン」等々、夫々の地域の特色を生かした販売を行ったが、人気は上々で、後志地域協議会や連合北海道からの支援を受けて、積極的な売り込みで共に完売をした。

会場内には、巴太鼓振興会Jrの演奏に引き続き、函館東小学校金管バンドの演奏が行われ、会場内は更にヒートアップ。更には札幌からも、連合北海道・組織対策局皆川次長を中心としたジャズバンドも参加し、会場内には常に生演奏が響き渡っていた。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=1130>



11月の主な動き

- 留萌地協定期総会
1日(土)13:00／地域消費生活センター
- 網走地協定期総会
8日(土)13:00／端野公民館
- 第5回地方連合会事務局長会議
12日(水)13:30／東京
- 2015年度第1回男女参画推進委員会
13日(木)10:00／連合北海道会議室
- 食・みどり・水をマモル道民会議幹事会
13日(木)13:30／連合北海道会議室道民運動局

イベントカレンダー

- 渡島地協定期総会
16日(日)／函館国際ホテル
- 第14回中央執行委員会
20日(木)13:30／連合会館
- 第11回判例研究会
20日(木)18:30／かでる2・7
- 日高地協定期総会
22日(土)13:00／堺町会館
- 後志地協定期総会
22日(土)13:30／ホテル第一会館

- 第2回執行委員会
26日(水)10:00／連合北海道会議室
- 第1回地協事務局長会議
26日(水)13:30／連合北海道会議室
- 胆振地協定期総会
28日(金)14:00／洞爺サンパレス
- 空知地協定期総会
29日(土)13:00／ホテルサンプラザ
- 十勝地協定期総会
29日(土)／十勝教育会館